

Power Spectrum

FFT

Hilbert Transformation

Curve Fitting

振動

Modal Analysis

Noise Criteria

音響

Subjective Evaluation

Sound Quality

ONO SOKKI

音響・振動 技術セミナー

Cコース

＜音の測定の基礎と実習＞

本セミナーは、音の測定をこれから始めようとしていたり、あるいは騒音・音響測定の基礎技術を習得したいと思われる方を対象とした、セミナーです。

音の基本的な性質から音響測定に関わる用語、概念の解説を行なった後、音響棟実験室（無響室、半無響室、残響室）を使用し、音の性質をご自身の耳、ならびに計測器の測定値を通じ、体感して頂きます。

騒音や音といった問題に関わっていらっしゃる皆様に、ぜひ本セミナーを受講していただき、基礎知識と基礎技術を深めていただけますよう、ご案内申し上げます。

10月23日
午後

講師:石田康二 小野測器（工学博士）

音響測定を扱う工学分野は、環境・生活騒音や機器発生騒音の低減など「騒音制御」の領域、製品や設備の品質維持・向上のための「騒音検査・評価」の領域、さらには、良い音を創造する装置であるオーディオやホールだけでなく、近年は、機械発生音を快音化する「音創り」の領域が注目されています。音を扱う場がどのような領域であっても、その基本的性質を知ることが必要です。伝搬、反射、吸音、透過といった音の物理的な基本的な性質、また、人間の聴覚の特性とそれを元にした音の評価量を解説いたします。

- 現代の騒音事情
- 音の基本量
- 音の特徴と性質、音場
- 聴覚の特性と評価量
- 実験室における計測事例（材料の音響性能・音響パワーレベル）

10月24日
終日

講師：株式会社小野測器
コンサルティンググループ

音響実験室での実習を行います。無響室、半無響室、残響室という、音において特徴的な実験室に身を置く事により、音の性質、挙動を体感して頂きます。また、騒音計を2名に1台ご用意しますので、測定器の数値にても確認頂きます。

- 音の基本的な性質（距離減衰、干渉、回折、指向性等）
- 音場の違いによる音響の差異

石田 康二—講師紹介

1983年関西大学大学院修士課程修了後1999年まで東急建設技術研究所に勤務し、東急文化村オーチャードホール、横浜みなとみらいホールなどの音響設計に従事。その間、1990年英サalford大学応用音響学部、1991年～1993年英ケンブリッジ大学芸術歴史学部(博士)へ留学。1999年より小野測器で主にコンサルティング・技術開発を担い、現在に至る。日本騒音制御工学会会長、日本音響学会評議員。一級建築士、PhD